

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の低減とともに、乗客数増加に直結すると考えられる。
	◎	コンビニ（店長）	・イベントなども再開しているので、今後も良くなっていく。
	◎	観光型ホテル（経営者）	・希望を込めて、良くなる。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・いまだ新型コロナウイルス感染症の発生前には届かないものの、料飲部門も先の予約は前年比130%以上で獲得できている。
	○	一般小売店〔茶〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第7波が少し収まれば、もう少し良くなる。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、消費は回復すると予測している。
	○	コンビニ（経営者）	・外部要因に大きな変化がないため、現状よりはやや良くなるのではないかと。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症の騒ぎも、普通の生活の一部とみなされるような状態に近くなるのではないかと。
	○	衣料品専門店（統括）	・当店では、祭りがあるかないかで、販売量がかなり変わってくる。この近辺や全国的にも祭りが徐々に開催されてきている。まだ、新型コロナウイルスの感染対策は必要ではあるが、当地域では夏～秋と、段々と祭りが増えているので、客の動きは大分変わってきた印象がある。これから良くなるのではないかと。
	○	家電量販店（店員）	・コロナ禍で、徐々に行動範囲が広がって制限も解除されてきているので、消費マインドも強くなっていく。
	○	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、夏休みを少し長めにして、休み明けから生産台数のアップを図り、新型コロナウイルス感染症の発生前の90%近くまで回復してきているので、期待している。ただし、心配なことは近隣の大規模小売店への乗客数が70%程度に落ち込んでいることである。
	○	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの感染第7波が、3か月以内に終息に向かうだろうという予測の元、やや良くなる。
	○	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンがなくなったが、次の施策に期待している。
	○	テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言等が発出されなければ、県民割などの影響もあり、来園者は増加する。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋口になって気温も平年並みになってくれば、人の動きも良くなり、イベント等もできるようになってくると思っている。少しは安心できるのではないかと。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・観光業にとって書き入れ時の夏休みであるが、新型コロナウイルス感染症の過去最大の感染拡大が起き、人出に大きな影響を与えたと思われる販売量になっている。政府による行動制限はほとんどなかったが、新規感染者数の高止まりが各個人へ行動制限を掛けていたように感じている。前年や前々年に比べれば人出は多いが、売上にはつながらないという思いが、近隣の同業他社の認識である。なし崩し的に行動制限の緩和がなされていくのかもしれないが、観光客の購買意欲回復までに至るのかは、疑問である。
□	一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減しない限り、今の状態が続く。	
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は多少落ち着くと思われる一方で、エネルギー価格や食料品価格の高騰等、本格的な景気改善には至らない。	
□	スーパー（商品部担当）	・良くなるキーワードが見つからず、現状以上に良くなるとは思えない。	
□	乗用車販売店（販売担当）	・2～3か月後のことをはっきりとはいえないが、新車販売は、本当にどうしようもないほど車が届かないので困っている。その分、中古車は多少売れている。サービス関係も、車検等は定期的に来るものなのでやや良い。サービスと中古車市場は何とかなるが、新車販売の状況は2～3か月たっても恐らく変わらない。	

□	住関連専門店（仕入担当）	・値上げ圧力が完全に賃金上昇カーブを越えている。ただし、そうしたなかでも、これまで我慢を強いられてきたレジャー等への支出は増えていく。現在の値上げの状況に慣れが出るまでは、相当厳しい状況が続くことを想定している。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・前年並みの売上は確保しているが、利益面ではまだまだである。売上は、外的要因である新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ大きく、また、ロシアとウクライナの戦争の影響で値上げせざるを得ないこともあり、改善されにくい状況が続く。これらが足かせになっているので、足取りが重い状態のままではないか。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・来客数は徐々に回復すると思うが、仕入価格の高騰が続き、景気という意味合いでの回復はまだ先になると思う。どのくらい先になるかは全く分からない。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、減少によるので、変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の発生当初のような、急激な悪さはなくなっている。かといってここ2年、上向きになっているとは感じられない。
□	都市型ホテル（総支配人）	・不透明ではあるものの、予約状況から判断して、ある程度現状に近い売上は確保していけると見込んでいる。
□	旅行代理店（所長）	・県民割等の延長も決まり、大きな変化はないものの、個人消費の落ち込みはないと想定される。秋の行楽シーズンに向かい、全国旅行支援制度のスタートに期待したい。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いた限り、しばらくは変わりそうもない。
□	タクシー（経営者）	・夜の動きが良くないので、この先も変わらない。
□	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況は、全国で感染者数は違うものの増減傾向は似ていると感じている。あくまでも個人的な予測だが、秋からの新規感染者数減少による消費者行動の活性化を期待しつつ、状況は悪くはないのではないかと。
□	通信会社（営業担当）	・社会情勢等の外的要因が不安定なため、政府が景気対策等を行わない限り、現状からの変化はない。
□	通信会社（総務担当）	・物価上昇により家計支出が大幅に増えれば、販売は一層減少する。
□	通信会社（局長）	・現状での販売が伸び悩んでいる外部要因である新型コロナウイルス感染症、半導体不足、物価高騰等が回復する見込みは薄いですが、こうした環境下でのサービスもできつつあるため、変わらない。
□	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染第7波の収束や、物価の安定がみえない状態では、今後の見通しも不透明である。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・物価上昇と新型コロナウイルス感染症が収まらない限り、景気は回復しない。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（従業員）	・良くなっていく気がしない。
□	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少が見込めない限り、景気が上向くことは難しい。ワクチンや特効薬の普及次第といったところではないか。
□	設計事務所（所長）	・秋の価格高騰を受け、買い控えが出てくると思われる。
□	住宅販売会社（経営者）	・コロナ禍は、新型コロナウイルスの感染第7波がピークアウトしても、状況は改善されないと予想する。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・今後も原材料高が続くと見込んでおり、値上がり分を転嫁した適正価格での商売が、どう評価されるかが懸念事項である。
▲	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の落ち着きが不透明で、ウクライナ問題、円安の影響による値上げラッシュ等、商環境に良化の見込みがない。
▲	スーパー（総務担当）	・今後は、更に値上げが増えていくので、良くなるとは考えにくい。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くか気掛かりである。不況感が出てきたように感じている。商材の値上げによるダメージで、どこまで購買力を下げるとか心配している。
▲	乗用車販売店（従業員）	・受注は減少している。車両の納期遅延も続いており、見通しが立たない状況が続く。

	▲	自動車備品販売店（経営者）	・ずっとコロナ禍のムードに飲まれている。皆、気持ちが詰まったままの状態である。政府などが思い切って対応方針を変え、他国と同じようにレベルを下げるなどして、経済をしっかりと回す方針や施策を取ってほしい。
	▲	住関連専門店（店長）	・来客数アップとなる外部要因は今のところない。物価上昇とともに、景気はやや悪くなる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・当店は値上げせずに頑張ってきたが、このまま物価高が続けば値上げは必須であり、客がついてこられるか心配である。また、家計にじわじわと影響が出ており、客の来店頻度は減るだろう。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・食材費や経費全般の上昇に加えて、最低賃金上昇に伴う従業員の勤務時間減少や支払賃金の増加により、当面収支面の圧迫が懸念される。単価等の提供条件見直しをクライアント先に依頼していくことが収益確保に必須とみられる。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・宴会需要は新型コロナウイルスの感染第7波の影響を受け、キャンセルや飲食なしの会議のみへの変更があり、この1か月で10月分の予約が1千万円減少している。料飲部門でもランチのキャンセルが増えてきており、飲食に関する人の流れが鈍くなっていると感じている。一方、行動制限がなく県民割等の補助がある宿泊は好調を維持しており、過去最高の売上となる見込みである。
	▲	通信会社（経営者）	・円安による仕入れコストの上昇が続き、利益率が低下している。食品やエネルギー価格の高騰による消費者の買い控えもあり、とても景気が良いとはいえない。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・消費者の買い控えで、やや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・前年は写真館での七五三撮影予約や問合せがあったが、今年はほとんどない。これから先にも期待が持てないので、不安が募り楽観視できない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・このまま物価高と円安が続いたら、ほとんどの庶民は買物がおぼつかなくなるのではないかと。
	×	コンビニ（経営者）	・現在、コロナ禍で客が全く来ないことが、悪くなっている理由である。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・今後3か月くらいは、国民が新型コロナウイルス感染症との付き合い方はこういうことだと、きちっと対応力ができた上での社会活動をするようになってくると思う。まず、医療や薬等の具体的な話が出てこない限り、なかなか行動半径は広がらない。そのため、しばらくは悪くなっていく。政治に頼れる時代が来れば良いとは思いますが、残念ながら期待薄ではないか。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・為替も円安方向に進んできており、当社の場合は海外からのコンテナ入港が遅れて、物が入ってこなくなっている。また、年末に向け、原料の小麦や油等の値上げという報告も来ているので、今後、売価に転嫁せざるを得ない。そのため、客の購買は若干落ちるかとみている。また、新型コロナウイルス感染症が少し収まって来てはいるものの、一向に落ち着かず、いまだに新規感染者数も非常に多い。学校も始まるし、また年末に向けて感染拡大して、大変な状態になるのではないかと心配している。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症による不景気が直撃している。
	×	美容室（経営者）	・海外では、バルセロナオリンピックの成功で資金繰りは好転し、サグラダファミリア教会の建設が飛躍的に早まり2026年の完成が見えてきた。観光客も増えるに相違ない。対する東京はどうだろうか。東京オリンピックの幹部が贈収賄で逮捕されるなど陳腐な興行におとしめて、まさに貧すれば鈍するである。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車の組立ラインが通常稼働することを期待しているが、内示情報では極めて不確実な状況が続いており、予断を許さない。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の製造機メーカー1社とは、来年まで受注が既に決まっていて、これ以上はもうにもならないという話もあり、良くなる方向だと思ふ。ただし、国内向けではなく全てが輸出なので、果たして日本は大丈夫かと不安になる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が増え、人手不足気味になってきている。そうしたこともあり、これからは多少良くなっていくと思っている。

	<input type="radio"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・第3四半期の生産計画では、中国向け部材を中心に生産数が2割程度増産となる。
	<input type="radio"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先の状況は非常に良くない。特に、半導体関係等は落ち込みが大きい。今後は、競争相手等も含めて若干良くなることを期待している。
	<input type="radio"/>	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・半導体不足が解消されれば、増産の見込みである。
	<input type="radio"/>	経営コンサルタント	・ウクライナ戦争や新型コロナウイルスオミクロン株の別系統のまん延は、社会の行動制約要因としては大きくなく、先行きの不透明感は薄れてきている。石油製品を始めとする諸物価の値上がり傾向も落ち着きを見せつつあり、消費活動は徐々に上向いてくる。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今までは余り出なかった商材が動くようになってきている。この先もこのまま続く予定なので、変わらない。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・酷暑のなかでも、製造や売上は共に順調に推移しているので良かったと思っている。
	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・おそらく新型コロナウイルス感染症の影響だと思うが、人の動きも少なく、本当に先のことは分からない。困っている。
	<input type="checkbox"/>	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだしばらくは、新型コロナウイルス感染症の影響が残ると考える。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・季節家電である秋冬物のヒーター、電気カーペットやレジャー、キャンプ用品等は前年並みの物量を確保予定である。ただし、燃料コストの高止まりやドライバー不足も続きそうで、車両確保等の厳しい状況は続きそうである。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・大きな流れが変わったわけではないので、変わらないということだが、間違いないところではないか。
	<input type="checkbox"/>	社会保険労務士	・最低賃金上がるので、価格転嫁が進んでいないサービス業のうち、最低賃金で雇用する従業員が多い事業所では影響が大きい。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注状況からも特段変化は見られない。多少は増加するのではないか。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・原材料価格の高騰等もあり、良くなる要因が見当たらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・取引先からの受注予定数量が減少する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（総務担当）	・とにかく発注のペースが遅く、現場監督が遊んでいる状況で、この先の見通しも怪しい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・良くなる要素が、何も見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（開発担当）	・現与党政権の下、公共工事は順調に推移してきたが、コロナ禍で、今期の公共工事発注は前年比23%減となり、当社の今期決算は大変厳しい予想である。建設業では社員の高齢化に歯止めがかからず、ここ数年、新卒社員がゼロで今後も期待できない状況である。ただ、自然災害が避けられない我が国において、建設業は不可欠な業種である。今後も大変厳しいが、前を向いてチャレンジしていきたい。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（管理担当）	・資機材の値上げが続き、最低賃金も上がるため、経費増加要因が続くことや取引先の解約や縮小等で、売上の減少が見込まれる。
雇用 関連 (北関東)	<input checked="" type="radio"/>	—	—
	<input type="radio"/>	人材派遣会社（社員）	・新規感染者数も高止まりしているが、日々の生活はかなり落ち着いてきている。これから2～3か月先は紅葉の時期も含めて、当地区を含めた県内への観光客入込数が増えるかと予想している。ホテル等施設の宿泊者数も順調に伸びるのではないかと。当社のようなサービス業では、人手不足が1番大変である。
	<input type="radio"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルス感染症も新たなフェーズに入っていくと感じている。また、中期的にみても前向きな動きを感じている。ただし、希望的観測の方が強いかもしれない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・求職者が少ない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしており、一時的な人員不足等が発生している派遣先からの依頼が増えているが、求職者不足の状況はしばらく続くと思われるため、変わらない。

□	人材派遣会社（管理担当）	・秋からの生産計画が不透明で、生産が増えて良くなるか生産減で悪くなるかは、来月以降に判明予定である。現時点では変わらないとみており、過剰な準備は避けている。
□	職業安定所（職員）	・国の新型コロナウイルス感染症対策の施策が、足を引っ張っている。
□	職業安定所（職員）	・前年同月と比較して求人数が上回っている状況が続いているが、新規求職者数は5月と比べて15%減少、前年同月比では5.4%減少している。新型コロナウイルス感染症が長期化するなかで、雇用や求職活動に与える影響等が懸念される。
▲	人材派遣会社（経営者）	・夏休みも終わり、購買力が全般的に落ち込み、電気等の公共料金も上がると見越しているの、いろいろ控えていくのではないかと。旅行関係も期待はしているが、まだ不透明感がある。住宅は依然として横ばいで、堅調である。
×	*	*